

横浜港南本牧

本牧ふ頭地区臨港道路 ～南本牧はま道路～



国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所

京浜港全体の広域交通ネットワーク形成を図るため、大水深コンテナ船用岸壁が集結する南本牧地区と高速道路ネットワーク及びふ頭間を連結する臨港道路の整備を進めています。

大水深コンテナターミナルが集中する南本牧地区から高速道路ネットワークに接続するとともにふ頭間を連結する臨港道路の整備を進めています。

横浜港におけるコンテナ貨物の増加に伴い、主力コンテナターミナルである南本牧ふ頭から背後圏へ移動する車両や、南本牧ふ頭と本牧ふ頭との間を移動する車両が増加しています。

このため、南本牧ふ頭から背後の高速道路へのアクセスとふ頭間のアクセスの強化を図ることを目的に、臨港道路を整備しています。

臨港道路の整備によって、ふ頭間の輸送時間の短縮、港湾から高速道路へのアクセス強化が図られ、物流の効率化や京浜港の国際競争力強化が期待されます。

整備効果-① 輸送時間の短縮

南本牧ふ頭 ↔ 本牧ふ頭の所要時間
13分 → 8分 約4割、5分短縮

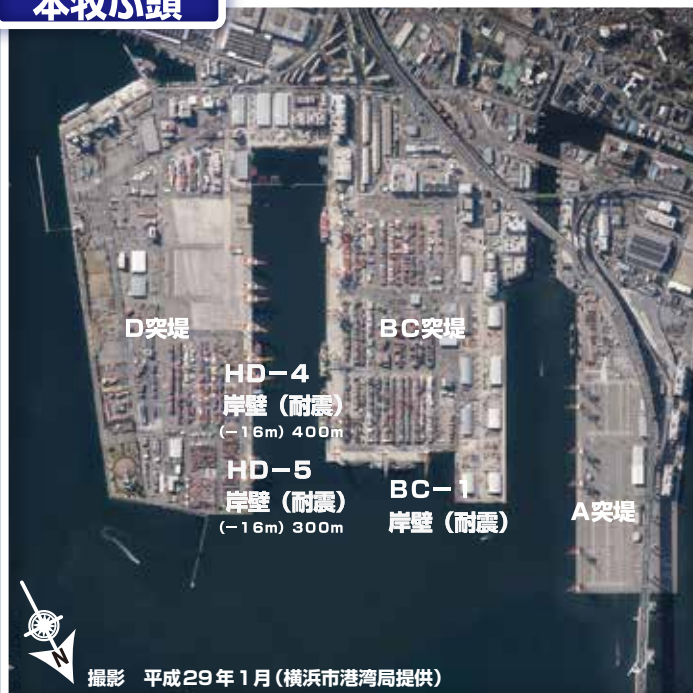


整備効果-② 高速道路へのアクセス改善

首都高速湾岸線 上り方面 12分 → 3分
東名高速 方面 14分 → 3分



本牧ふ頭



撮影 平成29年1月 (横浜市港湾局提供)

南本牧ふ頭



撮影 平成29年1月 (横浜市港湾局提供)

本牧側擁壁部



Ⅲ-1～2工区



Ⅲ-1～2工区



Ⅵ工区



撮影 平成29年2月



※「南本牧はま道路」の名称は、平成29年2月に一般公募の結果により決定しました

国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい6-3-7 TEL.045-226-3740 (代表)

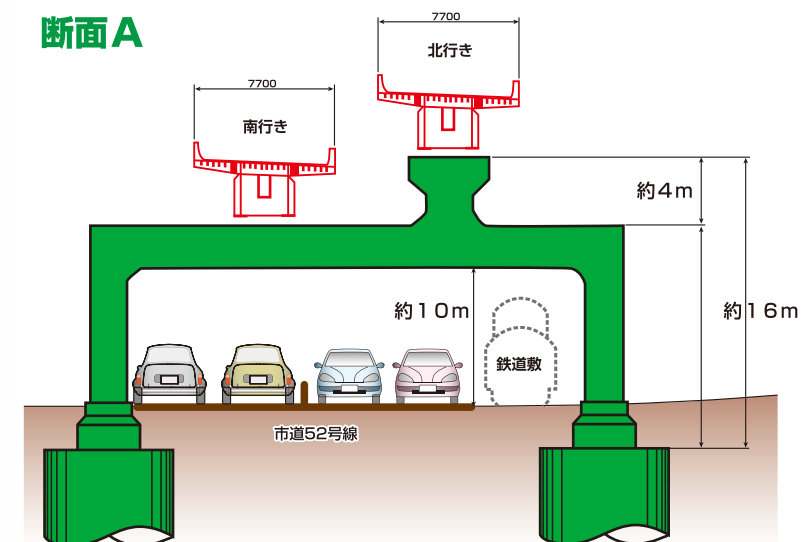
港湾物流の効率化を図り、国際競争力強化へ

ふ頭間を結ぶ臨港道路

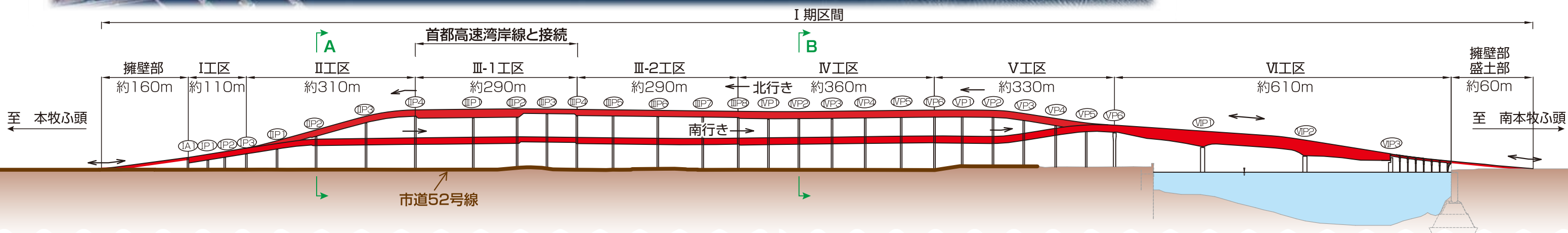
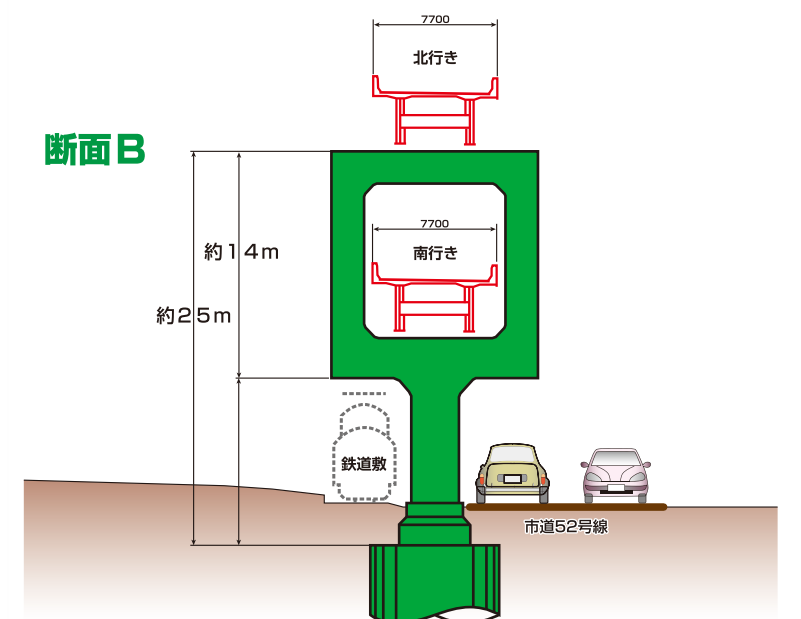


代表断面

断面A



断面B



横浜港南本牧～本牧ふ頭地区臨港道路ができると こんな効果があります

効率的な物流機能の確保

コンテナ取扱の主力となる南本牧ふ頭、本牧ふ頭と流通業務機能も集積する大黒ふ頭を発着地とするコンテナ貨物車両の増大に対応するため、ふ頭間を臨港道路で連絡することで、港内のコンテナ輸送がスムーズになります。また、南本牧ふ頭と背後の高速道路ネットワークとを直結することにより、横浜港の集貨環境が改善されます。

代替道路としての機能

南本牧ふ頭へのアクセスは既設の南本牧大橋 1 本であることから、本事業の整備により、事故・災害等への代替道路として期待されます。

沿道環境改善

輸送時間の短縮により、CO₂排出量、NO_x排出量、SPM排出量が削減され沿道環境が改善されます。

諸 元

道 路 名	横浜港南本牧～本牧ふ頭地区臨港道路
区 間	神奈川県横浜市中区南本牧ふ頭～中区本牧ふ頭
延 長	約 6.2km
規 格	2～4車線 4種1級 設計速度60km

